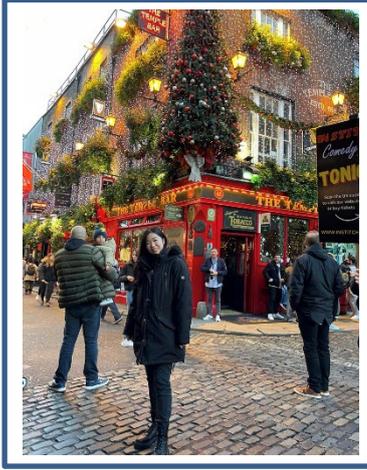


# OMU Students 海外留学レポート



氏名	兼濱 伶帆
所属	法学部 法律学科
学年	4年
留学先	ダブリンシティ大学
留学期間	2023/9/1~2024/5/2

## 留学レポート Study Abroad Report

私は、3年生後期（2023年9月）から1学年間、アイルランドのダブリンシティ大学（DCU）に、交換留学生として派遣していただきました。高校時代に2週間程度、アメリカのサマースクールに行ったことがきっかけで異文化交流や語学の習得に興味を持つようになり、高校・大学では、海外での長期滞在を目標にしてきました。DCUへの留学を決めたきっかけは、英語で法律・政治学系の授業を含む、人文学系の授業を履修できること、（恥ずかしながらアイルランドがどこにあるのかも曖昧なほど）アイルランド・ダブリンについて知らなかったもので、新しい世界を見てみたいと思ったことです。DCUでの留学中は、授業内容を理解することはもちろん、新しいことに挑戦し、視野を広げることを心がけていました。

### アイルランド・ダブリンについて。

アイルランドは、イギリスの西側に位置する島国です。国土は北海道ほどの面積で、ギネスビールやストリートミュージック、豊かな自然や酪農が有名です。また、1日の間に四季があると言われるほど、天気も不安定なことでも有名です。特に冬は日照時間が短く、ビタミンDが不足して気分が沈みやすくなるのでサプリメントを摂取して不足するビタミンを補うこともあります。アイルランドでは、郊外に行く場合は電車、街の中は主にバスや路面電車を交通手段として使います。私は、大阪で生まれ育ったので時間通りに運行される電車を当たり前だと思っていたのですが、連絡なしに30分遅れたり、突然キャンセルされたり、運航中に故障したりと、バスには何度も翻弄されました。

### ダブリンシティ大学（DCU）について。

ダブリンシティ大学は、アイルランドの首都、ダブリンにある総合大学です。2つキャンパスがあるのですが、私の通っていたグラスネビンキャンパスは、シティセンターからはバスで30分ほどの所にあります。私は、人文学部に所属しており、主に政治学系の授業を履修しました。初学年向けの授業は大講義室で200人程の学生と受けたりと、規模が大きいものが多かったのですが、対象学年が上がるにつれて授業規模が小さくなる傾向がありました。授業スタイルで違いを感じた点は、大講義室で開講される授業でも、教授が生徒に質問を投げかけたり、生徒同士で相談する授業があったりと、双方向型の授業が多かったことです。

DCUでは、クラブ・サークル活動が盛んで、私はジャパニーズサークル・アート&クラフト・グリーンクラブ・ケイピングクラブに参加しました。クラブ・サークル活動はそれぞれ€4で1年間メンバーになることができます。私は、これらのサークルのうち、特にグリーンサークルと、ケイピングクラブに積

極的に参加しました。グリー（Glee）サークルは、Glee というテレビドラマシリーズからつけられた名前前で、西欧圏ではアカペラサークルのことです。アカペラサークルだということを知らずに入部したのですが、最終的にはショーに参加するほど力を注いでいました。一方、ケイビングクラブ(Caving club) は、名前の通り、洞窟探検に行くクラブです。後期からこのクラブに入ったのですが、学期終わりにはケイビングトリップに参加し、2泊3日で洞窟探検をしました。



(左から、大学の看板・Glee のショー・洞窟探検で壁から降りる場面)

### ★ アイルランドでの生活の様子。

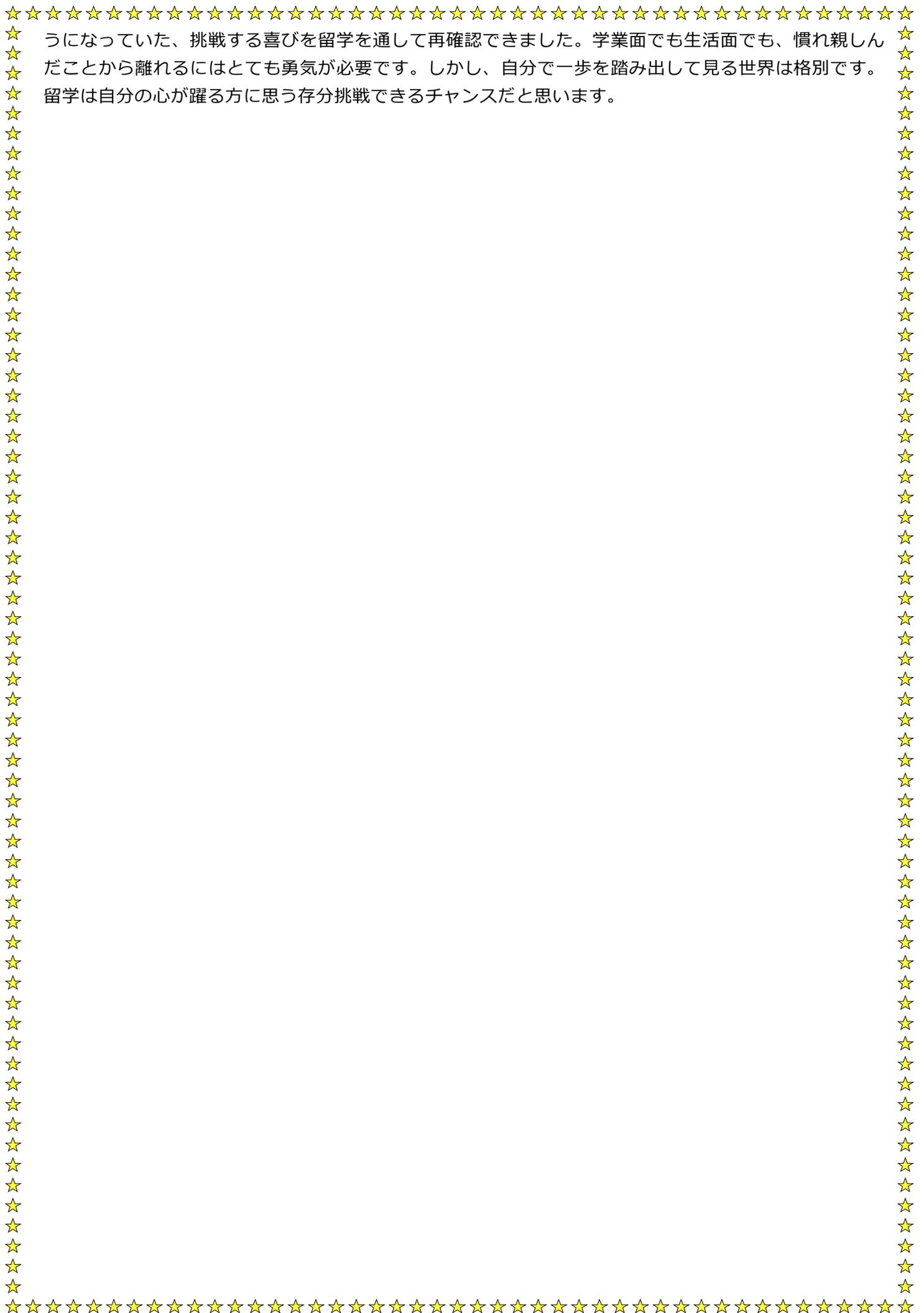
私のアイルランドでの留学生活は家探しから始まりました。近年の経済発展とそれに伴う移民の増加が、アイルランド、特にダブリンでの住宅不足問題を加速させています。私は、学生寮の抽選に外れてしまったので、渡航前から何件も電話をかけて家を探しました。社会問題を実際に肌身に感じたことはあまりなかったのですが、とても貴重な経験となりました。渡航後、驚いたことは、ダブリンは首都であるにもかかわらず、自然がすぐそばにあることです。シティセンターにも大きな公園が点在しており、また、僅か 30 分ほど電車に乗れば、ビーチや崖に行くことができます。週末の天気がいい日はよく、ハイキングや崖歩き、ビーチを散歩したりしました。Howth という崖では、手軽にクリフウォーク (Cliff Walk) をすることができ、お気に入りの場所の一つでした。長期休暇の際は、近隣国に旅行に行きました。格安航空が発達しており、また、空港もアクセスしやすかったので手軽に足を伸ばすことができました。



(左から、Howth でのクリフウォーク・ウィックロー山・ギャップ・オブ・ダンロー・コネマラ山)

### ★ 9 ヶ月の留学を終えて。

9 ヶ月の留学を終えて、精神的にも体力的にも打たれ強くなりました。正直、私の留学生活はトラブルばかりでした。難航した住まい探し、クリスマス休暇の旅行中に痛くなる歯、帰国時は乗り継ぎのフライトを逃しました。しかし、ステイ先では留学中で一番仲の良い友達を作り、歯科医巡りでは友達や家族、ホストファミリーの優しさに触れ、帰路では 3 人も新しい友達を作りました。全てのことは自分の行動と考え方次第です。日本では、学業に加えて、遊びやアルバイトなど、慌ただしい日々の中で忘れそ



うになっていた、挑戦する喜びを留学を通して再確認できました。学業面でも生活面でも、慣れ親しんだことから離れるにはとても勇気が必要です。しかし、自分で一步を踏み出して見る世界は格別です。留学は自分の心が躍る方に思う存分挑戦できるチャンスだと思います。